

JAL不当解雇撤回 高裁勝利！早期解決をめざす 10.25大集会へのメッセージ

JAL不当解雇撤回、高裁勝利！早期解決をめざす10.25大集会参加の皆さんに、連帯と激励のメッセージを送ります。

安倍政権は、参院選後、消費税大増税、社会保障の大改悪、雇用のルール破壊、原発推進、TPP推進、憲法改定と集団的自衛権の行使、米軍基地強化など、あらゆる分野で暴走をはじめています。こうした中でも、私たちは、とりわけ雇用のルール破壊の策動に危機感を高めています。彼らは、"雇用の拡大や賃上げ"まで公言してアベノミクスへの期待をあおっていますが、その実態は、ブラック企業の放任や、「日雇い派遣」の解禁まで含む派遣法改悪推進などで、まさに、雇用破壊、解雇自由の推進そのものです。

現在、みなさんがたたかわれているJALの不当解雇も、こうした策謀の先鞭として行われたことは歴然で、現在進行中の裁判でも、すでにその真相が明らかにされています。私たちは、このたたかいで、ルールを無視した解雇を明確に断罪し、二度と彼らがこうした手段を取り得ないよう包囲・監視しなければならないと考えています。

みなさんのたたかは、今日の日本の雇用破壊・解雇自由の推進への反撃の先頭に立つもので、すべての労働者の要求とたたかいを代表するものです。私たちは、こうしたたたかいで奮闘する、愛媛出身の客室乗務員原告を支えるために結成された地方の会ですが、みなさんとともに、勝利の日まで奮闘する決意です。

JAL不当解雇撤回と、10.25大集会に結集されたみなさんのたたかいが前進することを期待し、連帯のメッセージとします。

2013年10月25日

JAL不当解雇撤回とたたかう愛媛原告を支える会

JAL不当解雇撤回をめざす 四国キャラバン 愛媛集会



JALの不当解雇撤回をめざして取り組まれた四国キャラバン。その締めくくりとして、20日夕方、四国キャラバン愛媛集会が松山市内のコムズで行われました。集会には約60名が参加。

挨拶と報告に立ったパイロット原告団長の山口宏弥さんは、「安倍内閣は、日本を企業が世界一活動しやすい国にすると言っている。労働組合をつぶすことで解雇自由を狙っており、それを許さないため、勝利するまでたたかう」と決意を表明しました。

愛媛出身の原告3名は、キャラバンの疲れも見せず、それぞれに力強く訴えを行いました。

伊方町出身の原告二宮斉子さんは、不誠実な団体交渉の翌日、「断腸の思い」「誠心誠意組合と話し合っている」という記者会見を見て、退職をやめたたかうことを決意したと、不誠実な会社の姿勢を批判しました。

最後に、参加者全員が「あの空へ帰ろう」を合唱し、たたかう決意を固めあいました。

原告の皆さん、本当に疲れ様でした。

この国人権感覚は到底先進国とは呼べない低レベルではないか。支援要請活動は、この国のあり方をも教えてくれる。最終バスで高知へ入る。3日目は、労働局要請のあとパイロット原告が団長へ交代。空港から「日航は不当解雇を撤回せよ」のオレンジ色の襟をしていたと、同じ飛行機に乗り合

いた。高知は木曜市前で街宣した

が、ビラの受け取りが日本一？と思つほど良かった。「市」を立

てている人にもビラを配ったが、沢山の人が励ましてくれた。

さすが自由民権運動発祥の地。翌朝最終日の愛媛へ戻る。市

駅前でいつもの仲間が迎えてくれ

た。2組に別れ22カ所を回り、まとめの報告集会まで何と

かやり終えた。理不尽な解雇を決して許さず、必ず勝利を掴み取るその日まで頑張る決意を新たにした実り多き4日間でした。

各県の皆様、誠に有難うござります。

(ア)